



上海市養老サービスモデル

章晓懿

上海交通大学 国際与公共事務学院

2009.9

日本 同志社大学

自己紹介

- 上海交通大学 国際与公共事務学院 副院長
准教授
- 社会担当
 - 上海労働と社会保障学会 常務理事
 - 上海社会保障専門委員会 常務副主任
 - 上海市老齡科研センター 高齡者介護研究所所長
 - 上海市高齡者学会 理事
 - 上海市浦東新区労働保障学会 理事



問題意識

- 上海の高齡者どのように養老すべきか
- 上海の高齡者はどのようなサービスを利用できるか
- 上海のサービスは誰がどのように提供するか
- 現在上海の養老サービスはどのような課題があるか

発表の流れ

- 上海人口高齡化の特徴
- 上海市養老サービスの9073モデル
- 上海における養老サービスの現状と課題
 - 家族養老が直面している挑戦
 - 養老施設の現状と課題
 - 在宅福祉サービスの現状と課題
- 上海市の養老サービスの今後に関する提言



上海人口高齡化の特徴



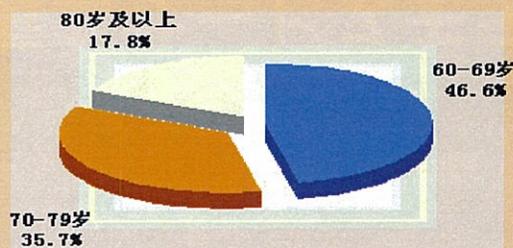
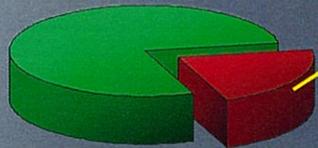
上海人口高齡化の主な特徴

1. 高齡人口の総量が多い
2. 増加速度が速い
3. 後期高齡者が多い
4. 高齡者世帯・独居高齡者が多い

上海人口高齡化の主な特徴

2008年末

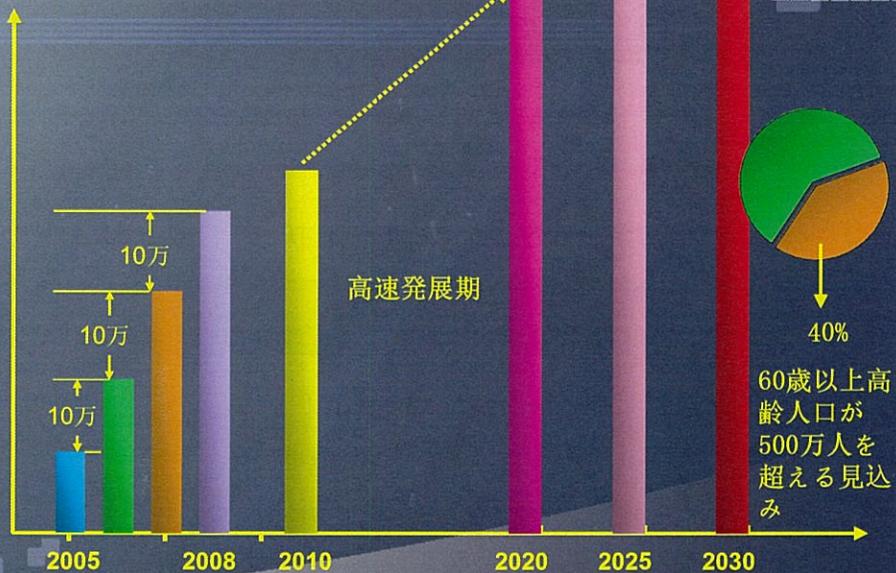
60歳以上上海市戸籍高齡人口が300万人に突破し、戸籍総人口の22%を占め、このうち65歳以上の高齡人口は214.5万人である（15.4%）。



上海人口高齡化の主な特徴

1. 高齡人口の総量が多い
2. 増加速度が速い
3. 後期高齡者が多い
4. 高齡者世帯・独居高齡者が多い

上海人口高齢化の主な特徴

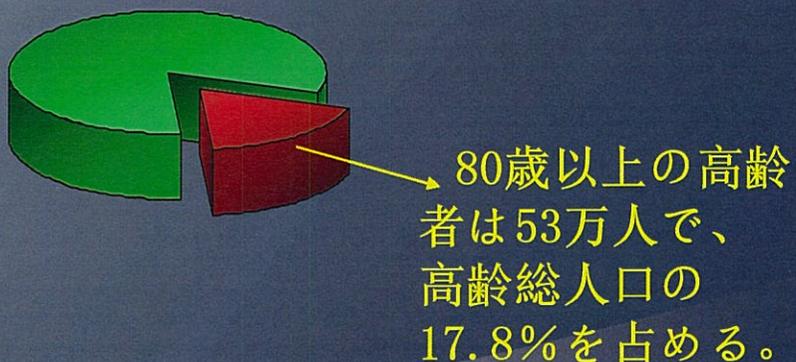


上海人口高齢化の主な特徴

1. 高齢人口の総量が多い
2. 増加速度が速い
3. 後期高齢者が多い
4. 高齢者世帯・独居高齢者が多い

上海人口高齢化の主な特徴

2008年末



上海人口高齢化の主な特徴

1. 高齢人口の総量が多い
2. 増加速度が速い
3. 後期高齢者が多い
4. 高齢者世帯・独居高齢者が多い

上海人口高齢化の主な特徴



高齢者世帯の高齢人口は86万人

独居高齢者は19万人近く



上海市養老サービスの9073モデル



上海市養老サービスの「9073」モデル

家族ケア

在宅福祉サービス

施設サービス



90%



7%



3%

上海のやり方

完全な政策体系の制定、規範的に推進

1998年



「上海市養老施設の管理方法」を公布する

2000年



最初の地域における在宅福祉サービスの展開を探る

05年-08年



3年連続40項養老サービスを支援する具体的な施策を制定し、実施する

財政体制

社会的・制度的な運営体制を設立し、完全に



- ★ 対象者 80歳以上の高齢者、生活上自立困難の高齢者及び独居高齢者を主な対象に、次第に公共財政の投入を増加する。
- ★ 体制の面 「社会分担」を重視し、高齢者事業の社会化と高齢者産業の市場化を推進する。
- ★ 責任主体の面



主なやり方

上海市政府の実際的な事業として持続的推進



21万人の高齢者のために在宅サービスの提供



1万床養老ベッドの増設



50か所高齢者デイサービスセンターの新築

100か所社区配膳サービスポストの設立



上海養老サービスの現状と課題

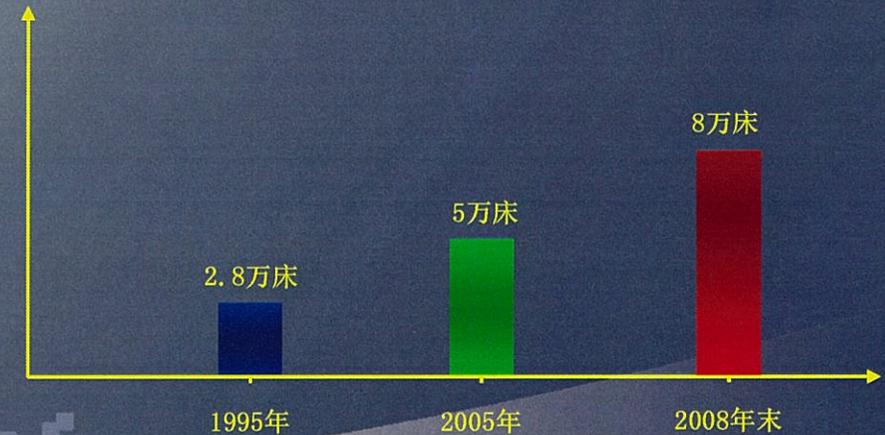


家族ケアの弱化

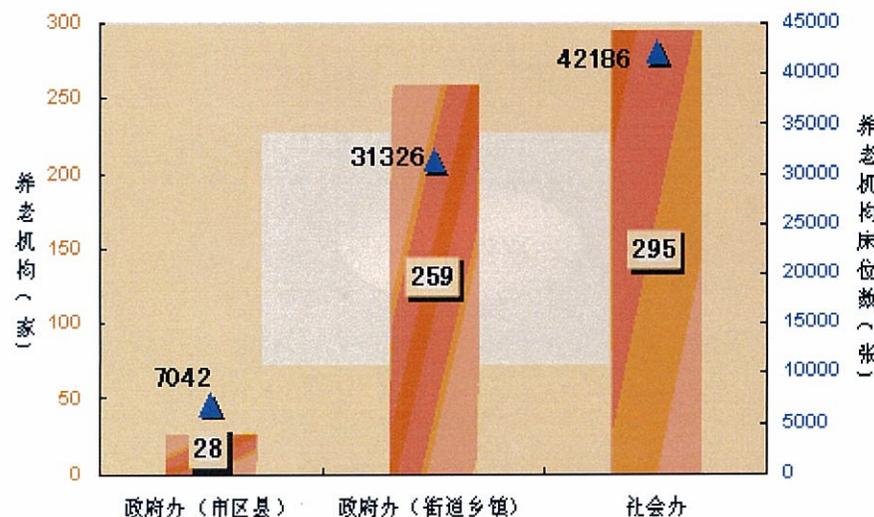
- 家族が提供できる養老資源が減少している
 - 少子化の進行,
 - 核家族世帯の増加,
 - 子供が自立する時期を早める,
 - 子供が十分な親をケアする時間と精力がない。

養老施設の現状

2005年～2008年, 毎年1万床の養老ベッドを増設し、4年間合計4万床増設した。



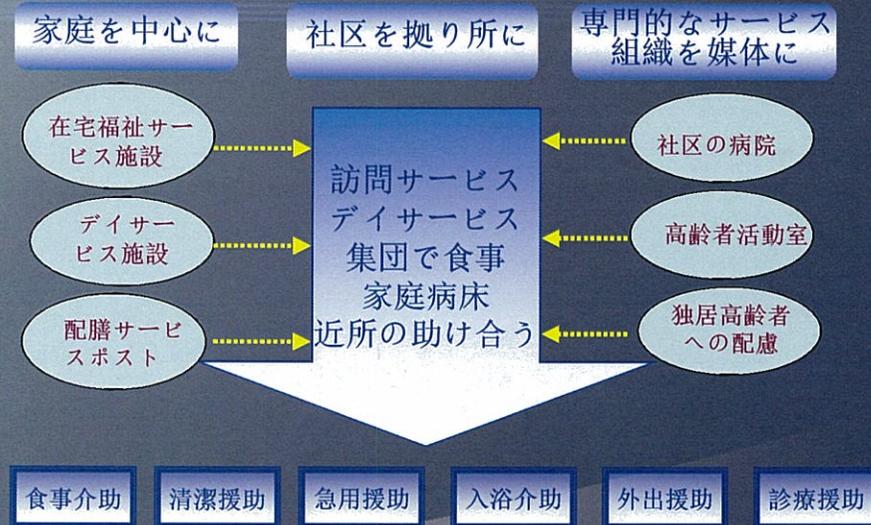
2008年末、上海市に582か所養老施設があり、養老ベッド数は合計80554床、60歳以上戸籍高齢人口の2.7%を占める。



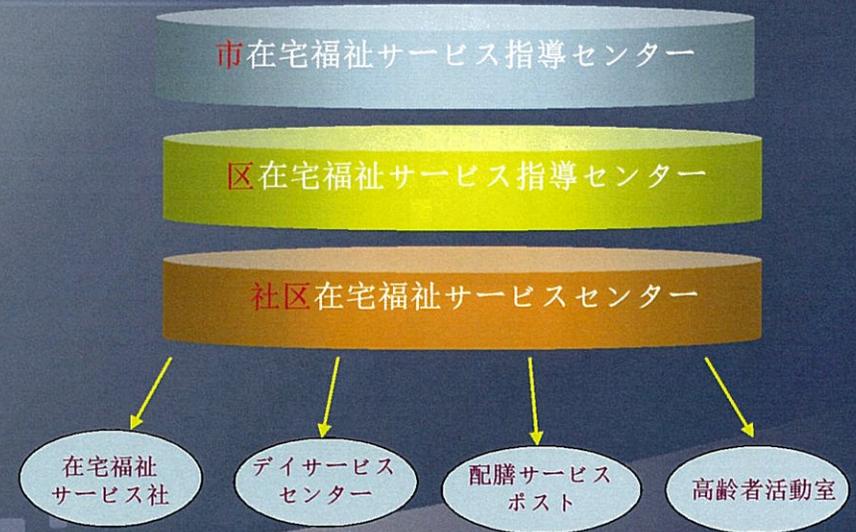
上海養老施設が発展の中での課題

- 需給の矛盾——高齢者の施設養老サービスへのニーズは次第に多く、要求も高くなる。一方、施設が量的に少なく、質的に低く、増設スピードが遅いなどの矛盾が次第に厳しくなる。特に、施設の分布が合理的ではない。
- 位置付けの不合理——養老施設のサービスの市場化によって、施設サービスと最も介護サービスが必要な高齢者の支払い能力の不足との矛盾を激化させる。
- 専門性の低さ——高齢者の介護技術へのニーズと専門的な介護職員の不足との矛盾が次第に増加する。
- 体制の矛盾——次第に広がる開放的な社会化経営思考と、保守的な管理体制との矛盾。

社区における在宅福祉サービス

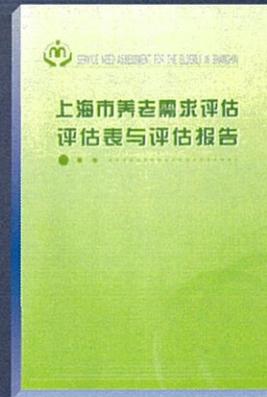


上海の在宅福祉サービスの3レベルのネットワーク



高齢者状況への評価体制

- 科学的に統一された規範的な評価体制を設立し、これらの評価を通して、特殊な困難高齢者のためにある程度のサービス補助を提供し困難高齢者の優先的なサービス利用を確保する。



上海在宅福祉サービスの項目

在宅福祉サービス施設は234か所があり、17.7万人のためにサービスを提供

デイサービスセンターは229か所、高齢者活動室は5547か所

配膳サービスポストは220か所

10万人以上の高齢者のために緊急通報システムを設置

71か所の高齢者医療施設を設立し、高齢者家庭病床を41300床設置

上海在宅福祉サービスの課題

- 財政が限られているため、サービスの利用対象者が限定されている。現在、主に困難高齢者を対象にしている。一般の高齢者では、経費や人的資源などの原因で、在宅福祉サービスの利用は少ない。
- 人的資源が限られているため、サービスの内容が生活ケアと家政サービスを中心としている。高齢者の精神的サポートへのニーズに対応できておらず、高齢者の個別化に対して包括的なサービスの提供がまだできない。
- 在宅福祉サービスの提供はまた探索・発展段階であるため、全体的、科学的、規範的な管理体制が完全ではなく、その質の保証も難しい。
- 管理体制が未整備のため、地域資源が分散し、統合しにくく、在宅福祉サービスの供給効率がなかなか上がらない。
- また、質が高く、比較的定着率がいいサービスの管理及び提供チームの設立も大きな課題である。



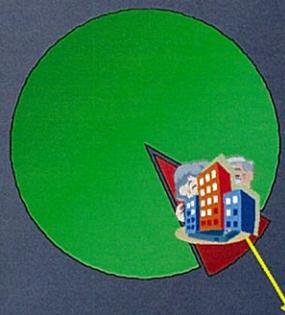
上海の養老サービスの今後に関する考え



2010年の目標

養老福祉事業を社会経済発展の全体的な枠組みに取入れ、強く推進する

養老ベッド数を10万床まで増設し、全市戸籍高齢者の3.2%を占める

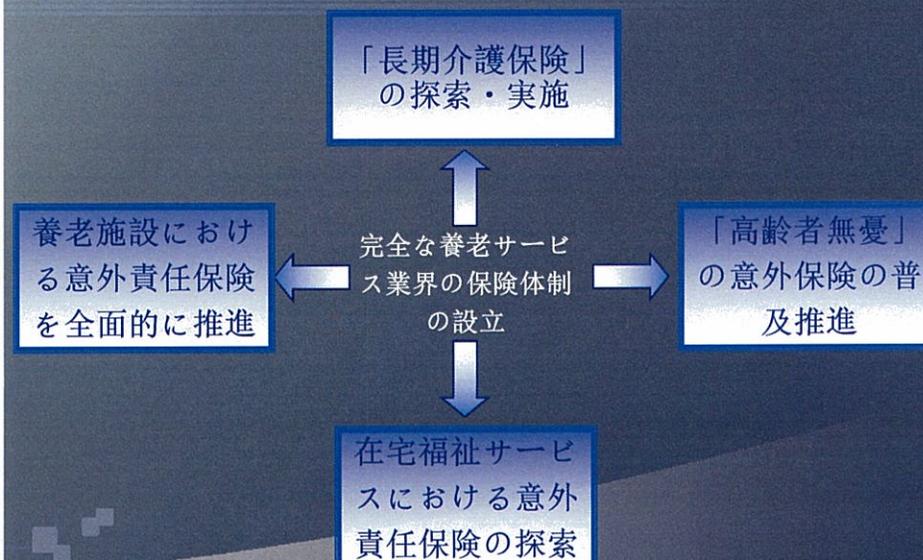


在宅福祉サービスの利用者数を25万人まで拡大する。

2010年、上海市において社会的養老サービスの利用者数が高齢人口の10%まで増加する

主なやり方

完全な養老サービス業界の保険体制



在宅福祉サービス

- 在宅福祉サービスの利用範囲を拡大し、一定の普遍的な制度を実現する。
- 在宅福祉サービスの提供チームを拡大し、ケアワーカーの専門性を高める。
- 在宅福祉サービスの管理と評価に関する標準を定め、サービスの効率を高める。
- 在宅福祉サービスの項目を拡大する。
 - 訪問サービス
 - デイサービス
 - 配膳サービス
 - サービスステーション：洗濯、入浴、散髪、足の手入れ、物療.....
 - 心理面の相談と慰め.....
 - 医療、リハビリ、予防.....



施設養老

分類的に施設養老福祉サービスの推進

- ★ 施設の機能による分類、配置によるレベルを定める基準の制定
施設は単一の機能だけではなく、総合的な機能による設置
- ★ サービス機能によって、施設のベッドを以下のように分類：

介護型

生活上自立不能な高齢者

介助型

一部生活ケアの必要な高齢者

自助型

自立可能な高齢者

- ★ 営利型の養老施設の管理及び支援施策を研究し、その発展を促進し、一部経済負担能力が高い高齢者のニーズを満足させる

ディスカッション・クエスチョン

- 今後上海の養老サービスはどのように展開すべきか
- 日本の介護保険が実施される中でどのような課題があったか
- 上海の現状に合わせて「長期介護保険」を設立すれば、日本はどのような提言ができるか



ありがとう
ございました

谢谢！